

2012年9月29日

フジテレビ番組内の潰瘍性大腸炎の無理解発言の放送について抗議します
～「とくダネ!」安倍自民党総裁就任関連の報道から～

北海道札幌市豊平区平岸3条5丁目7-20-308

北海道潰瘍性大腸炎・クローン病友の会

会長 藤井紀歴

去る9/27放送のフジテレビ「とくダネ!」において、安倍自民党総裁関連報道の中で、過去の首相辞任のことから、司会者・コメンテーターによる「お腹が痛くてやめたなどは小学生の言い訳」「たかだか腹痛、下痢程度で」に代表される、潰瘍性大腸炎の無理解から生じる発言が放送されました。

潰瘍性大腸炎は厚生労働省により特定疾患に指定されている難治性疾患(難病)で、悪化時は、酷い腹痛・下痢・下血が生じて、患者には堪難い症状に襲われます。その病気から生じる辛い症状に対して「差別的」とも言える表現は、我々患者を深く傷つけ、患者の人權を軽視しています。また社会に対して偏見・誤解を助長させ公共の電波を利用した放送として倫理に反するものであります。

潰瘍性大腸炎となった方のうち、多くの方が元気を取り戻され、安倍さんの様に、活動的に動かれる方もおられます。一方、悪化を繰り返し、手術まで至る方もおられます。

今回の報道では、潰瘍性大腸炎だけでなく、多くの「難治性疾患(難病)」と言われる方々も心を痛めています。

今回の放送を受け、当該番組及びマスコミ各位に対して、潰瘍性大腸炎や「難治性疾患(難病)」への「勉強」と「理解」を求めます。そして、正しい基礎知識に基づいた、偏見のない報道を求めます。

以上